

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第16号
2019年1月18日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

2018年を振り返り、2019年を展望する

昨年末の臨時国会では、自民党は改憲案を国会に提出する事ができませんでした。世論の力でくい止めたと言えます。しかし安倍首相は、7月の参議院選挙前の改憲勢力が2/3を維持している間に、何としてもなりふり構わず国会発議をしようとしています。一説によると「6月中に発議し6月24日から2か月間の運動期間を経て8月25日(日)に国民投票を考えている。」とされています。発議されれば金にものを言わせたテレビでの改憲賛成のコマーシャルが洪水の様に流されるでしょう。

戦争する国への道を止めようとする私たち多数の民意と野党の協力で改憲発議を阻止し、選挙で改憲勢力を2/3未満に減らさねばならない。沖縄の知事選挙の様に協力して頑張ればきっとできます。

さて昨年の2018年度の活動方針から私たちの会の1年を振り返ると・・・

- ①「安倍9条改憲」についての学習会をCDも活用して大小様々、沢山行う。
茶話会、平和講座等計6回の行事に延べ80人が参加
- ②「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万署名)をできるだけ多く集める。決まった時間、場所での署名と宣伝を行っていく。
署名は135筆25人の協力で、街頭での署名や宣伝行動は2回、延べ13人の参加
- ③会の趣旨に賛同してくれる仲間(会員一現在約70名)を増やしていく。
3人の方が入会されたが3人の方が転居や亡くなられて脱会されました。
- ④会報を2か月に1度をめどに発行を続ける。
3/10の会報第11号から1/16の16号まで6回、予定通りの発行ができました
- ⑤会員相互の親睦をはかる行事を行う。
2回の懇親会とバスツアーで延べ60人の参加

上記の様に会員相互の勉強会や懇親会、会報の発行はほぼ予定通りに進んだが、署名や街頭宣伝など外へ訴えかけていく分野が弱いことが分かります。一步を踏み出す時は少し勇気が必要ですが、戦争できる国にしないため、皆で一步ずつ進みましょう。

世話人 中野一美



♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

♪2018年12月21日年末懇親会♪

三線、腹話術、ギター演奏
さんしん

世話人 禿 憲正



腹話術披露

今年の年末懇親会の案内には、「THAT' SBONENKAI」と大きく出ていました。

「BONENKAI」をちょっと分けると「BON-ENKAI」。「BON」とはフランス語で、「よい」とか「おいしい」ということだそうです。本当に「素晴らしい美味しい宴会」でした。今年の懇親会のテーマは、一芸披露大会。始めにゆっくりと、楽しく料理をいただきながら話に花を咲かせました。もうこの時から、一芸披露は始まっていました。

各テーブルに並んだ料理の数々、目と口を奪われてしまいました。皆さんの料理の芸「BON RYOURI」、各テーブルでも、まずは料理の味わいから話が始まっていったのでないかと思いました。各テーブルで会話が弾んでる中で、サー、別の芸が始まりました。「えー、あの人あんなこと出来るんだ。」「すごーい」「ほーっ」「ワーハッハハ」「えーっ」。三線の演奏、「マタハーリヌチンダラカヌシャマヨ」と、一緒に歌いました。

手品の披露もありました。「手の中の五円玉、はい、消えました」「まだ有りますよ」「えーっ、うーん、やっぱりご縁「五円」は消え(切れ)ませんねー」ウーン、素暗らしい落ち。腹話術も有りました。あわてん坊のサンタが、クリスマス前に来ました。プレゼントを忘れて…けれど有りました。新谷のり子さんの憲法9条の歌「第9歌謡曲第2楽章」がカセットテープ(古っ)で流れました。

各テーブルでは芸を見たり一緒に歌ったり、話し合ったり。最後にギター演奏と、みんなで合唱です。「戦争を知らない子供達」「反戦僧侶」と。新谷のり子さんの言葉「最近胸をはって誇れるものが少なくなって来てるんですけど、そんな中で、これだけは、日本人が絶対的に世界中の人々に誇れるというものを持っています。日本には良いところいっぱい有るけれど、その中で一番良いんじゃないかと言えることはあれだけのたくさんの人々の犠牲の上に勝ち取られた平和憲法です。」来年は、そのことを語り合える仲間を、もっと増やしたいとの言葉で閉められました。



◆「たんぼぼ舎」の通信に、反原発を唱える原子力の学者、小出裕章先生の論考が記載され、知人からメール転送していただきました。一部ですが紹介します。(世話人：佐竹 哲)

『フクシマ事故と東京オリンピック』

小出裕章 (元京都大学原子炉実験所助教)

今、福島では復興が何より大切だとされている。そこで生きるしかない状態にされれば、もちろん皆、復興を願う。そして人は毎日、恐怖を抱えながらは生きられない。汚染があることを忘れてしまいたいし、幸か不幸か放射能は目に見えない。国や自治体は積極的に忘れてしまえと仕向けてくる。逆に、汚染や不安を口にすれば、復興の邪魔だと非難されてしまう。

1年間に20ミリシーベルトという被曝量は、かつての私がそうであった「放射線業務従事者」に対して初めて許した被曝の限度である。それを被曝からは何の利益も受けない人々に許すこと自体許しがたい。その上、赤ん坊や子どもは被曝に敏感であり、彼らには日本の原子力の暴走、フクシマ事故になんの責任もない。そんな彼らにまで、放射線業務従事者の基準を当てはめるなど、決してしてはならないことである。しかし、日本の国はいま、「原子力緊急事態宣言」下にあるから、仕方がないと言う。緊急事態が丸1日、丸1週間、1月、いや場合によっては1年続いてしまったということであれば、まだ理解できないわけではない。しかし実際には、事故後7年半たっても「原子力緊急事態宣言」は解除されていない。

国は積極的にフクシマ事故を忘れさせてしまおうとし、マスコミも口をつぐんでいて、「原子力緊急事態宣言」が今なお解除できず、本来の法令が反故にされたままであることを多くの国民は忘れさせられてしまっている。環境を汚染している放射性物質の主犯人はセシウム137であり、その半減期は30年。100年たってもようやく10分の1にしか減らない。実は、この日本という国は、これから100年たっても、「原子力緊急事態宣言」下にあるのである。

オリンピックはいつの時代も国威発揚に利用されてきた。近年は、箱モノを作っては壊す膨大な浪費社会と、それにより莫大な利益を受ける土建屋を中心とした企業群の食べ物にされてきた。今大切なのは、「原子力緊急事態宣言」を一刻も早く解除できるよう、国の総力を挙げて働くことである。フクシマ事故の下で苦しみ続けている人たちの救済こそ、最優先の課題であり、少なくとも罪のない子どもたちを被曝から守らなければならない。

それにもかかわらず、この国はオリンピックが大切だという。内部に危機を抱えれば抱えるだけ、権力者は危機から目を逸らせようとする。そして、フクシマを忘れさせるため、マスコミは今後ますますオリンピック熱を流し、オリンピックに反対する輩は非国民だと言われる時が来るだろう。先の戦争の時もそうであった。マスコミは大本営発表のみを流し、ほとんどすべての国民が戦争に協力した。自分が優秀な日本人だと思っていればいるだけ、戦争に反対する隣人を非国民と断罪して抹殺していった。しかし、罪のない人を棄民したままオリンピックが大切だという国なら、私は喜んで非国民になろうと思う。

フクシマ事故は巨大な悲劇を抱えたまま今後100年の単位で続く。膨大な被害者を横目で見ながらこの事故の加害者である東京電力、政府関係者、学者、マスコミ関係者など、誰一人として責任を取っていないし、処罰もされていない。それを良いことに、彼らは今は止まっている原子力発電所を再稼働させ、海外にも輸出すると言っている。原子力緊急事態宣言下の国で開かれる東京オリンピック。それに参加する国や人々は、もちろん一方では被曝の危険を負うが、一方では、この国の犯罪に加担する役割を果たすことになる。(了)

◆◆◆◆今後の活動予定◆◆◆◆

★1月26日(土) 午後1時半、「喫茶 ピース・ガード」(2回目)

場所：広幡公民館和室

内容：アニメーション「あの日僕らは戦場で」、沖縄戦に動員された少年兵たちの告白を綴ったDVDを鑑賞してのトーク

主催：9条の会・養老 → チラシあり



★2月24日(土) 午後1半、9条の会・養老、設立3周年総会

講演：「安倍改憲と国民投票法を考える」

講師：山田秀樹 弁護士、岐阜コラボ西濃法律事務所所長

場所：養老中央公民館第3会議室

主催：9条の会・養老 → チラシあり



2019年元旦の初日の出

津屋川堤防より

編集後記

明けましておめでとうございます。
今年も宜しくお願いします。

今年の元旦の朝は、快晴の中、三日月と明けの明星(金星)と初日の出が同時に拝むことが出来、何か少し得をしたような気分になりました。会員の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

さて今年は地方選と国政選挙があり、9条守れの運動も正念場となります。9条の会・養老も丸3年になり、何とかこの会報の発行を維持できていることに安堵しています。2月には、創立時を含めて4回目の総会を予定しています。山田秀樹弁護士をお招きして、国民投票法の持つ問題点を共通の認識にできればと思います。

世話人 問山尚義



春よ来い



2018年 忘年会 会計報告 9条の会・養老

収入	会費、	1500円×18人	27000円
支出	オードブル、5皿	トミダヤ	9072円
	食材、	トミダヤ	5179円
	卵、	ヤマハタ	1100円
	食材、飲物	ビッグ	9291円
	会場費	ふれあいセンター	2000円
	合計		26642円
残高			358円

連絡先

「9条の会・養老」世話人

090-9183-0444 中野一美(代表)

090-9894-0444 佐竹 哲

090-2348-0719 問山尚義

090-8733-0090 禿 憲正

fax(問山)

0584-71-8746

E-mail(問山)

toiyama@ninus.ocn.ne.jp